

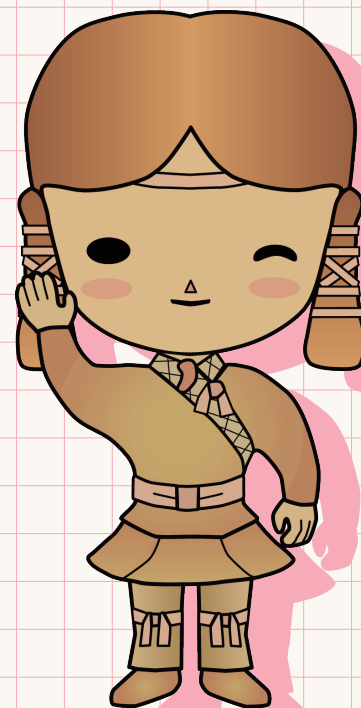
平安～室町時代

考古学 入門

06

Introduction to Archaeology

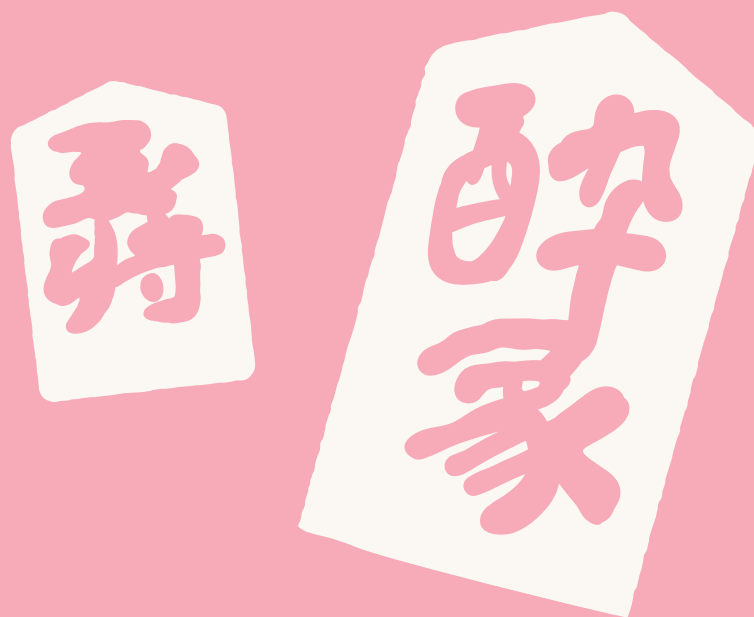
編：かしこうはく



平安ゝ室町時代



「都は京都へ」その時奈良は？



大和特産の焼き物



奈良時代にも平城京の周辺で

土器が生産されていたけれど、

中世になると土師器に加えて、
^{が き わん}**瓦器**碗が生産されるようになったんだ。

特に^{がしつ}瓦質土器の^{ぼち}火鉢は**大和特産**として有名で、

「花かたにやく “なら火鉢”」

と歌によまれるほどだったんだ。

奈良から全国に流通した**焼き物**があったんだね。

ごらく 娯楽の発達

はくつ
発掘で、むかしの遊び道具が出土することがあるよ。

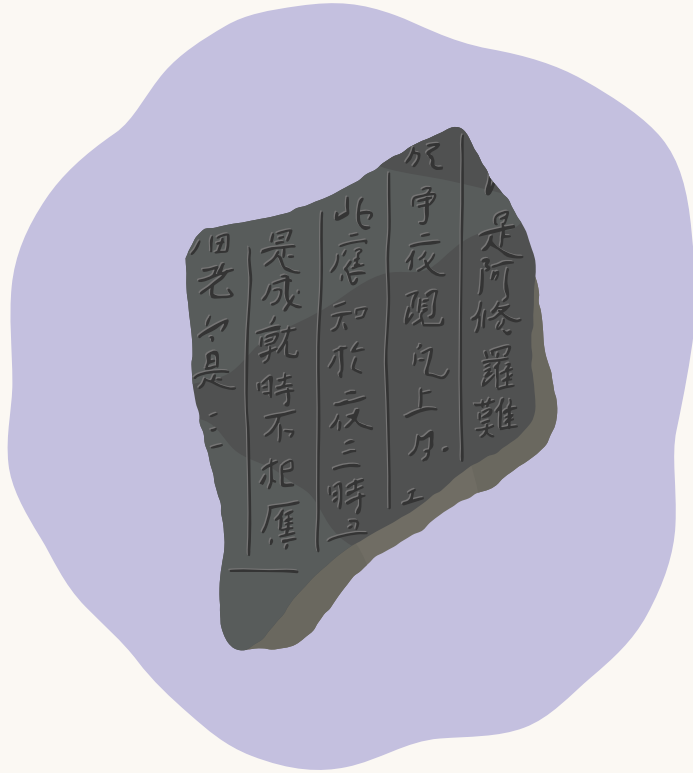
たとえば、奈良市興福寺の旧境内からは
11世紀の将棋しょうぎの駒こまが見つまっているよ。

これは日本最古の将棋の駒なんだ。
このころの囲碁いご・将棋・すごろくなどの大人の遊びは、
賭け事かだったんだ。

こどもの遊び道具では、
打毬だきゅうの毬まり、羽子板、コマなどが
出土しているよ。



中世のいのり



平安時代の^{きぞく}貴族にとって
奈良の^{よしの}吉野にある^{きんぶせんさんけい}金峯山参詣は
重要な^{しゅうきょう}宗教イベントだったんだよ。
^{ふじわらのみちなが}藤原道長も参詣して^{きょうづつ}経筒をおさめたんだ。

^{かまくら}鎌倉時代になると新しい^{しゅうは}仏教の宗派が
次々に成立したけれど、大和では
興福寺勢力が大きな力をもっていたんだ。

室町時代の終わりに近づくと
^{じょうどしんしゅう}浄土真宗が大和各地に広まって、
今井や下市などの寺内町が発達していったんだ。

南都として栄えた大和

平安京へ^{せん と}遷都したあと、

政治の中心は京都に移ったけれど、
奈良は「^{なん と}南都」^{なん と}として栄えたんだ。

東大寺や興福寺・春日大社など、
^{てんのう け}天皇家や^{ふじわらせつかん け}藤原摂関家の^{ひ ご}庇護を
受けた寺社勢力が大きな力を持っていたんだよ。

中世は^{けいざい}商品経済が発達した

時代と言われている、
奈良では興福寺を^{ちやうてん}頂点とする商工業者の組合である
「^ざ座」が成立して、商売が発達したんだ。



興福寺

\ 奈良はまだまだ発展するぞ /

